

LANDY

ランディ



 **SUZUKI**

1.8L
ハイブリッド
7人乗り

2.0L
8人乗り

みんなをのせて。思い出ものせて。

よく晴れた日。気持ちのいい風が吹いている。

こんな日には、みんなでランディにのって
いっぱい荷物も積んで出かけよう。

今日しかできない、家族の思い出づくりに。



1.8Lハイブリッドシステム
搭載^{※1}

※1 HYBRID G

先進の予防安全パッケージ
Safety Sense 搭載^{※2}

※2 Safety Senseについて、詳しくはP17-21をご覧ください。

WEBサイトは
こちら▼



LANDY

ランディ



大きな一台に、大きな思い出を。

澄んだ空気がぬける山道で、トレイルライド。
愛用のマウンテンバイクはランディに積んである。
持参したキャンプ道具で、みんなでランチ。
この一台に、全部おまかせ。
さあ、あとは最高の一日を楽しもう。





小さな気くばりで、
大きな幸せを。

ゆったりくつろげる空間だから、
リラックスした会話がグッと増える。
ランディでおでかけすると
家族へのちょっとした気くばりが
増える気がする。



*メーターパネル、マルチインフォメーションディスプレイ、メモリーナビゲーションは機能説明のために点灯させたものです。実際の走行状態を示すものではありません。
*画面はハメコミ合成です。*写真中のメモリーナビゲーション、ジュニアシートは販売会社装着アクセサリ（別売）です。また、ナビゲーション付属品は、撮影のため取り外しています。

車内はたっぷり大容量。
すみずみまで行き届いた使い心地。



片足でスライドドアを自動オープン

▶ ハンズフリーデュアルパワースライドドア
[ワンタッチスイッチ、挟み込み防止機構付]



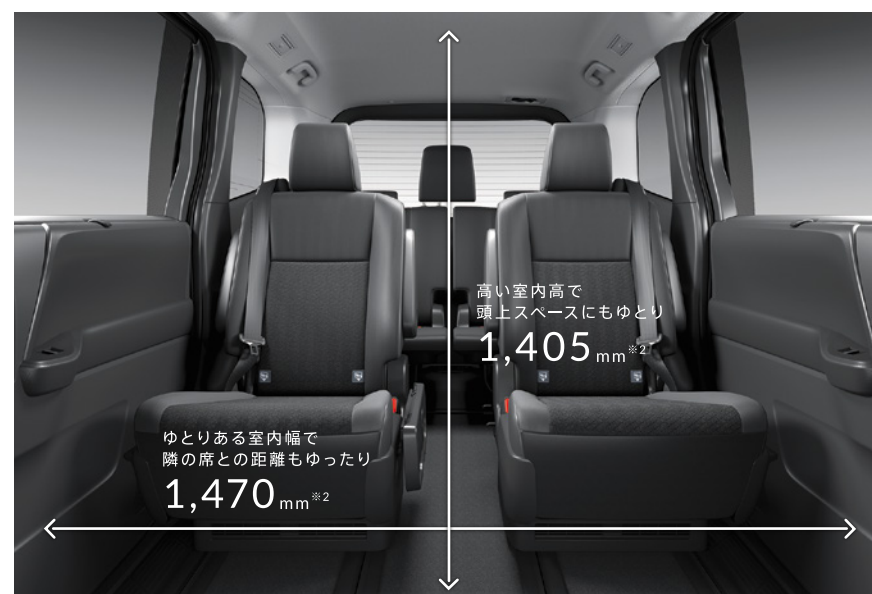
携帯リモコンを身につけていれば、フロントドア下のセンサーに足先をかざすだけでスライドドアが自動オープン。手荷物などで両手がふさがっているときもドアの開閉がスムーズにできて便利です。

長い手すりで乗り降りがラク

▶ ロングアシストグリップ(センターピラー左右)



小さなお子様やご高齢の方でもつかみやすいように手すりを長く伸ばしました(地上から895~1,330mm)^{※3}。お様が握る低い位置はグリップを細くするなど使いやすさを追求しています。



快適空間を実現するたっぷりサイズ

▶ 大容量空間

高い天井と長い横幅の室内、広い荷室を備え、たっぷり大容量の車内空間を実現。みんなで乗っても、荷物を積んでも安心です。

バックドア開閉を好きな位置でキープ

▶ フリーストップバックドア^{※4}



手動でバックドア開閉時に途中停止して保持する機能。クルマの後方が狭くても安心して荷物の積み降ろしができます。開度調整機構により、ドアの位置をキープ。一度保持した後は、閉方向のみ作動する機構です。



※1 4WD車/E-Four搭載車は535mmとなります。※2 トヨタ自動車株式会社測定値。※3 2WD車の数値。4WD車/E-Four搭載車は920~1,355mmとなります。※4 フリーストップバックドアは坂道や強風時に使用しないでください。バックドアが閉じることがあります。また、長時間のご使用はお控えください。*写真中のメモリーナビゲーション、ジュニアシートは販売会社装着アクセサリー(別売)です。また、ナビゲーション付属品は、撮影のため取り外しています。*画面はハメコミ合成です。*写真中の小物は、撮影のための小道具です。走行中は荷物が移動し、運転の支障とならないようしっかりと固定または収納してください。



シートの使い方はいろいろ。
心地よい空間で、のびのびと。

セカンドシートをスライドさせてゆったり座れる

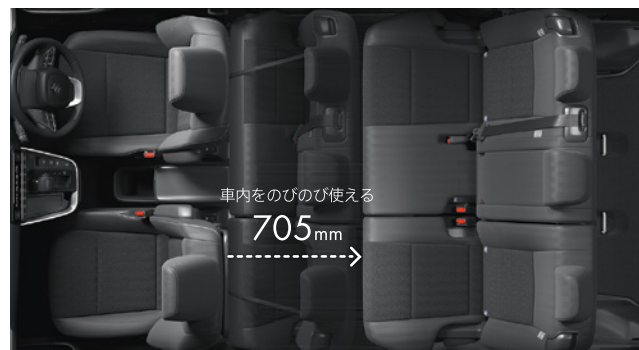
▶ ストレート超ロングスライド (HYBRID G)



セカンドシートを後ろに引いて、足を伸ばして座れます。シートの間(185mm)を広くとることで超ロングスライド時も車内移動をスムーズに行なえます。

セカンドシートの調整で着座時も乗り降りも快適

▶ 超ロングスライド (G)



セカンドシートに705mmのロングスライドが可能な6:4分割チップアップシート*を採用し、広々としたリラックス空間を実現。チップアップして前方へスライドすればサードシートへの乗り降りもしやすくなります。

シートを片手でワンタッチ格納

▶ ワンタッチホールドシート (5:5分割サードシート)



サードシートはワンタッチで折りたたんで簡単にロックが可能。格納時はスリムに収まり、広い荷室を確保できます。車内に乗り込まずに操作できるため、ラクにスペースを拡大できます。

床下収納にも大容量スペース

▶ スーパーラゲッジボックス



かさばる小物などもすっきり片づく、便利な床下スペース。デッキボードはヒモ付フックで開けたままにしておけるため、背の高い観葉植物やベビーカーなどを運ぶときにも利用できます。

「HYBRID Gは7人乗り、Gは8人乗り。」
どちらも大容量で、アレンジ自在。

リラックスも荷物積載も柔軟に対応

▶ 多彩なシートアレンジ

スーパーリラックスモード

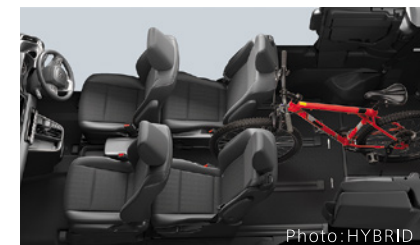


サードシートを格納し、セカンドシートを一番後ろまで下げることで、広々とした足元スペースが生まれ、まるでリビングのようにくつろげます。

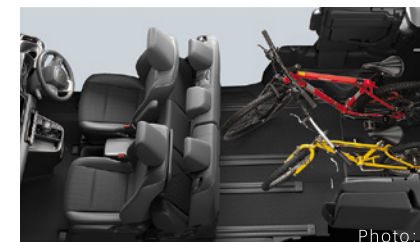
ラゲッジモード



ビッグラゲッジモード



リヤフラットソファモード



サードシートを折りたたんで荷室を確保すれば、セカンドシートまで座っていても、荷物を十分に積めます。

セカンドシートを前方へスライドさせ、サードシートを折りたたむことで、後列のすべてを荷室として使用できます。

後列シートすべてをフルフラットにすることで、駐車時などには横になって休めます。

後席トライアングルモード (HYBRID G・G)



フロントフラットソファモード (HYBRID G・G)



前席ベビーケアモード (HYBRID Gのみ)



セカンドシートとサードシートに2人のお子様を乗せ、セカンドシートから同時に見守ることができます。

フロントシートを倒し、セカンドシートと合わせてくつろげます。ゆったり身体を伸ばせるので、仮眠の際にも便利です。

セカンドシートを前にスライドさせて運転席と近づけることで、停車中にお子様の様子を見守れます。HYBRID Gだけの特別なシートアレンジです。

*Gのセカンドシート左席はシートバック前倒し連動チップアップとなり、右席は手動でのチップアップとなります。
*衝突のときなどにシートベルトが本来の効果を発揮できなくなりますので、シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。
*写真中のメモリーナビゲーション、ジュニアシートは販売会社装着アクセサリ(別売)です。また、ナビゲーション付属品は、撮影のため取り外しています。
*写真中の小物は、撮影のための小道具です。走行中は荷物が移動し、運転の支障とならないようしっかりと固定または収納してください。
*写真は駐車して休んでいる状態です。
*サードシート格納時は、中央席のヘッドレストを外して操作してください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。
*標準状態以外のシートアレンジにすると走行できない場合や、ご注意ください。必ず取扱説明書をご覧ください。
*走行時には後方視界確保・荷物の転倒防止にご注意ください。



気がきく便利機能で、
毎日のドライブを快適に。

使い勝手を考慮した多様な収納スペース

▶ 収納アイテム

| | | |
|---|--|---|
| <p>A</p> <p>トレイ取り外し時 シフト横小物入れ(充電用USBソケット(Type-C)1個付)</p> | <p>B</p> <p>フロントカップホルダー(運転席・助手席)</p> | <p>C</p> <p>助手席アッパーボックス</p> |
| <p>D</p> <p>助手席オープントレイ</p> | <p>E</p> <p>グローブボックス</p> | <p>F</p> <p>2段階引出し式センターホルダー [カップホルダー1個・小物入れ・カードホルダー]</p> |
| <p>H</p> <p>独立型センターコンソールボックス[アッパートレイ・リヤボックス付](充電用USBソケット(Type-C)2個付)</p> | <p>G</p> <p>独立型センターコンソールボックス[フロント・リヤボックス付](充電用USBソケット(Type-C)2個付)</p> | <p>I</p> <p>スライドアボトルホルダー(両側)</p> |
| <p>K</p> <p>エコバッグフック^{※1}(運転席シートバック)</p> | <p>L</p> <p>デッキトリムボトルホルダー(右側1個)</p> | <p>M</p> <p>デッキトリムボトルホルダー(左側2個)</p> |
| <p>G</p> <p>フロントドアボトルホルダー+小物トレイ&フロントアポケット(両側)</p> | <p>J</p> <p>シートバックポケット(運転席・助手席)</p> | <p>N</p> <p>チケットホルダー(運転席・助手席)</p> |

休憩時の軽食に便利な折りたたみ式テーブル

- ▶ 助手席シートバックテーブル^{※2}
[カップホルダー2個+エコバッグフック^{※1}2個付](G)



助手席シートバックには、折りたたみ式テーブルを装備。駐車時の軽食プレートやドリンク置き、スマートフォンやタブレットの軽作業用の簡易テーブルとして使えます。エコバッグを吊り下げられるフックも付いています。

*安全のため、走行中は助手席シートバックテーブルは格納し、使用しないでください。

小物置きに活用できる収納スペース

- ▶ 折りたたみ式サイドテーブル^{※3}
[カップホルダー2個付](HYBRID G)



- ▶ 格納式センターボックス
[カップホルダー2個+オープンボックス+エコバッグフック^{※1}1付](G)



セカンドシートの中央には、サイドテーブル(HYBRID G)/センターボックス(G)を装備。ドリンクやティッシュペーパー等の小物収納に使えます。すぐ手の届く位置に置いておけるため、使い勝手のよい仕様です。

微粒子イオンで快適な空気環境へ

- ▶ 「ナノイー-X」^{※4}



設定した室温を自動でキープするフルオートエアコンには、「ナノイー-X」を搭載。「ナノイー-X」は、「ナノイー」の10倍の量のOHラジカルを含む微粒子イオンです。運転席側のエアコン吹き出し口から室内へ放出され、車室内を快適な空気環境に導く「ナノイー」がさらに進化しました。

※4 ナノイー(nano) = nano-technology + electric 最先端のテクノロジーから生まれた「水に包まれている電気を帯びたイオン」のこと。★☆☆☆☆車室空間での試験による約1時間の効果であり、実使用環境・実使用条件での結果ではありません。※5 ※6 ※7 ●効果には個人差や作動条件による差があります。※5. 試験機関: (一財) 日本食品分析センター/試験方法: 実車において付着したウイルス感染価を測定/抑制の方法: 「ナノイー」を放出/対象: 試験したウイルス/試験したウイルスの種類: 1種類/試験結果: 1時間で99%以上抑制。第20073697001-0101号。報告書日付: 2020年12月4日 ※6. 試験機関: (一財) 日本食品分析センター/試験方法: 実車において付着した面数を測定/抑制の方法: 「ナノイー」を放出/対象: 付着した菌/試験した菌の種類: 1種類/試験結果: 1時間で99%以上抑制。第15038623001-0101号。報告書日付: 2015年5月12日 ※7. 試験機関: パナソニック株式会社プロダクト解析センター/試験方法: 実車において布に付着させたタバコ臭を6段階臭気強度表示法による検証/脱臭の方法: 「ナノイー」を放出/対象: 付着したタバコ臭/試験結果: 1時間で臭気強度1.8以上低減。BA A33-150318-M35。*「nano」, 「ナノイー」及び「nanoe」マークは、パナソニック株式会社の商標です。



| 「ナノイー」の技術 | |
|--------------|--|
| お肌や髪にやさしい弱酸性 | |
| ウイルス★、菌★★の抑制 | |
| 脱臭★★★ | |

*画像は作動イメージです。

運転席と助手席

それぞれで空調管理

- ▶ 左右独立温度コントロールフロントオートエアコン+リヤオートエアコン(リヤクーラー+リヤヒーター)



運転席と助手席でそれぞれのお好みに合わせた温度設定に対応。後席用のオートエアコンも装備しています。

座面と背もたれを温め

寒いときも快適にドライブ

- ▶ 快適温熱シート(運転席・助手席)



ヒーター加温箇所

座面と背もたれをすばやく温めるシートヒーターを運転席と助手席に装備。シートから伝わる熱で身体を温めるため、寒いときのドライブも快適です。

日除けシェードで

後席の直射日光をやわらげる

- ▶ 後席用サンシェード&セラミックドット(スライドドアガラス)



スライドドアに装備したサンシェードで、直射日光や視線を遮り、後席を快適にします。さらにサンシェードではカバーしきれないウィンドー両端にはセラミックドット加工を施し、窓全体の光をやわらげます。

※1 4kg以上のものを吊り下げないでください。※2 カップホルダーを含めて、合計5kg以上のものを置かないでください。※3 カップホルダーを含めて、合計3kg以上のものを置かないでください。

*メーターパネル、メモリーナビゲーションは機能説明のために点灯させたものです。実際の走行状態を示すものではありません。*画面はハメコミ合成です。*写真中のメモリーナビゲーションは販売会社装着アクセサリ(別売)です。また、ナビゲーション付属品は、撮影のため取り外しています。*写真中の小物は、撮影のための小道具です。走行中は荷物が移動し、運転の支障とならないようしっかりと固定または収納してください。



ハイブリッドならではの低燃費で、
エコでクリーンなドライブを。

HYBRID



*写真はハイブリッドシステムのイメージです。(2WD車)

心地よい加速フィールと低燃費を高次元で両立

▶ 1.8Lハイブリッドシステム

最新の電動モジュールを採用し、徹底したユニットおよび制御の高効率化により、優れた燃費性能を実現。心地よい加速に加え、軽やかな足回りとダイレクトなレスポンスというハイブリッドの高性能な走りを体現します。

ハイブリッドシステムとの協調を高めた高性能エンジン

▶ ハイブリッド用エンジン

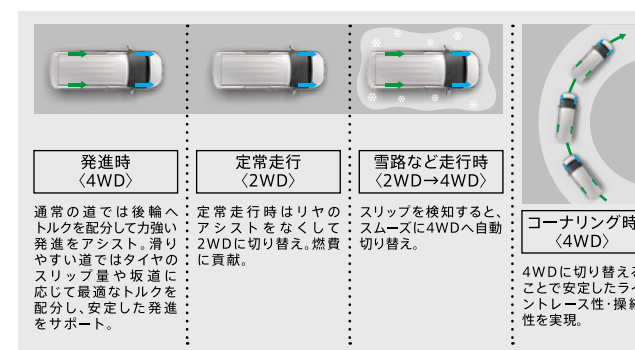
ハイブリッド用に性能を特化させたエンジンで、最大熱効率40%を実現。高効率の大量EGR(排気再循環システム)や低フリクション化アイテムを採用しました。新型ハイブリッドシステムとの協調を高め、自然な加速感を実現しています。

滑りやすい路面も安定したパフォーマンスを実現

▶ E-Four(電気式4WDシステム)^{※3}



*イメージ



さまざまな走行状態に応じて、FF(前輪駆動)走行状態から4WD(4輪駆動)走行状態まで自動的に制御。モーター出力向上により4WDの作動領域やリアへのトルク配分を拡大。滑りやすい路面での安定感に加え、ドライ路面での力強い発進や旋回時のライトレーシング性を向上させました。前後輪のトルク配分量は、マルチインフォメーションディスプレイに表示され運転中の作動状況が把握できます。

燃料消費率^{※1} (国土交通省審査値) WLTCモード^{※2}

HYBRID G 2WD

23.2 km/L

市街地モード^{※2}: 22.5km/L
郊外モード^{※2}: 25.2km/L
高速道路モード^{※2}: 22.3km/L



HYBRID G E-Four

22.0 km/L

市街地モード^{※2}: 22.0km/L
郊外モード^{※2}: 23.9km/L
高速道路モード^{※2}: 20.9km/L



※1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。※2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。

※3 E-Fourは、機械式4WDとは機構および性能が異なります。さまざまな走行状態に応じてFF(前輪駆動)走行状態から4WD(4輪駆動)走行状態まで自動的に制御し、安定した操縦性・走行の安定性および燃費の向上に寄与するものです。路面の状況、勾配、高速等の走行環境によってはガソリン4WD車に比べ、十分な駆動力が得られない場合があります。
*WLTC=Worldwide-harmonized Light vehicles Test Cycle *E-Fourは、トヨタ自動車株式会社の登録商標です。*雪道ではタイヤチェーン、スタッドレスタイヤなどの滑り止めを装着し、安全運転を心がけてください。

ECO DRIVE エコ運転性能



ガソリンエンジンの爽快な走りと、優れた燃費性能を。

Photo:G ボディーカラーはメタルストリームメタリック(1K0)

PERFORMANCE ドライブ性能



快適な乗り心地で、素敵なドライブ時間を。

GASOLINE

パワフルな走りでのドライブの楽しさを体感

▶ 2.0L直列4気筒エンジン

動力性能と燃費向上を両立した2.0L直列4気筒エンジンを搭載。マルチホールの直噴インジェクタやロングストローク化による高速燃焼を実現。エネルギーロスも低減し、最大熱効率40%を達成しました。吸気バルブの開閉タイミングを最適制御するVVT-iEを採用し、レスポンスも向上しています。

* VVT-iE=Variable Valve Timing-intelligent by Electric motor
[電動連続可変バルブタイミング機構<吸気側>]



*イメージ

ダイレクトな加速でスムーズな走行性能を実現

▶ Direct Shift-CVT

(ギヤ機構付自動無段変速機&10速シーケンシャルシフトマチック)

発進から高速域まで力強くダイレクトな走りに加え、優れた燃費性能を実現。マニュアル感覚のシフトチェンジが行なえる10速シーケンシャルシフトマチックでスポーティーな走りを楽しめます。

走行に合わせて最適な駆動に制御

▶ ダイナミックトルクコントロール4WD

電子制御により、前輪駆動に近い状態と4輪駆動を自動で切り替え。通常の走行時には、燃費効率のよい走りを実現。発進・加速時や滑りやすい路面、コーナリング時には最適な駆動力を後輪に配分し、優れた操縦安定性に貢献します。

燃料消費率^{※1} (国土交通省審査値) **WLTCモード**^{※2}

G 2WD

15.1 km/L

市街地モード^{※2}: 11.5km/L
郊外モード^{※2}: 15.5km/L
高速道路モード^{※2}: 17.1km/L



G 4WD

14.3 km/L

市街地モード^{※2}: 11.1km/L
郊外モード^{※2}: 14.6km/L
高速道路モード^{※2}: 16.1km/L



※1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。※2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。

*WLTC=Worldwide-harmonized Light vehicles Test Cycle

美しく視認性に優れたメーター表示

▶ オプティロンメーター[メーター照度コントロール付]&マルチインフォメーションディスプレイ[カラー]



HYBRID G



G

ドライブを心地よくする視認性に優れたオプティロンメーターを搭載。ディスプレイには高精細TFTの4.2インチカラー液晶を採用し、マルチインフォメーション機能を備えています。

*TFT(薄膜トランジスタ)=Thin Film Transistor

優れた操縦安定性に貢献

▶ 高剛性ボディー

スライドドアやバックドアの開閉部の剛性を確保するとともに、ボディー剛性に効果的なスポット溶接を行ない、骨格の結合部を強化することで、優れた乗り心地を実現しています。また、ボディー構造の工夫や運転時のふらつきを抑える補強部品の効果的な使用により、優れた操縦安定性を確保しています。

会話を妨げない静かな車内空間

▶ 静音性

振動・騒音を抑える高剛性ボディーに加え、広範囲に防音材を施工。エンジン音などを低減する吸音材の最適配置や、骨格断面内に発泡材を埋め、車内への音の侵入を徹底して抑制しています。

安定感のある快適な乗り心地

▶ サスペンション

優れた重量バランスと車両安定性にこだわって、上質な乗り心地を追求。フロントにマクファーソンストラット式、リヤにトーションビーム式を採用。荒れた路面等走行時のショックや平坦路走行時の振動などを抑え、気持ちのよい走りを実現しています。

運転のしやすさに配慮

▶ 最小回転半径5.5m

取り回しのよい最小回転半径を実現。運転のしやすさにも配慮しています。

5.5m



*メーターパネル、メモリーナビゲーションは機能説明のために点灯させたものです。実際の走行状態を示すものではありません。

*画面はハメコミ合成です。*写真中のメモリーナビゲーションは販売会社装着アクセサリ(別売)です。また、ナビゲーション付商品は、撮影のため取り外しています。

Photo:HYBRID G ボディーカラーはメタルストリームメタリック(1K0) 16



先進安全技術を搭載し、
毎日の運転をやさしくサポート。

ランディ 先進の予防安全パッケージ - Safety Sense -

| | | |
|-----------------------------------|---|-------------------------------------|
| プリクラッシュセーフティ (PCS) ぶつからないをサポート | レーンレーシングアシスト (LTA) 高速道路のクルージングをサポート | レーンディパーチャーアラート (LDA) はみ出さないをサポート |
| レーダークルーズコントロール ついていくをサポート | オートマチックハイビーム (AHB) 夜間の見やすさをサポート | ロードサインアシスト (RSA) 標識の見逃し防止をサポート |
| ドライバー異常時対応システム 救命・救護をサポート | プロアクティブドライビングアシスト (PDA) 安全運転をさりげなくサポート | 発進遅れ告知機能 (TMN) 先行車信号出遅れをサポート |



ランディは「サポカーS ワイド」、
国土交通省による「先進安全技術の性能認定車」です。

詳しくはこちら▶



*サポカーS ワイドは、政府が事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。全ての年代の方にお勧めしていますが、高齢層の方に多いペダル踏み間違い事故を起きにくくする装置なども備えていますので、高齢者の皆様には特にお勧めしています。*先進安全技術の性能認定車とは、事故防止対策の一環として、ペダル踏み間違い急発進抑制装置が一定の性能を有していることを国土交通省が評価する制度で認定された車です。

<Safety Senseを安全にお使いいただく上での重要事項説明> Safety Senseは予防安全パッケージです。ご契約に際し、Safety Senseおよびその各システムを安全にお使いいただくための重要事項についてご説明いたします。(ご使用になる際のお客さまへのお願い) ■運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。■各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をされると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。■ご使用前には、あらかじめ取扱説明書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。■お客様ご自身でプリクラッシュセーフティの作動テストを行なわないでください。対象や状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

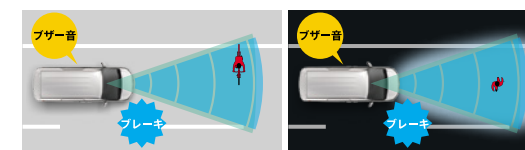
街中でのドライビングをサポート

前方の歩行者などを検知して警報とブレーキアシスト

▶プリクラッシュセーフティ (PCS) (歩行者[昼夜]・自転車運転者[昼夜]・自動二輪車[昼] 検知機能付衝突回避支援タイプ /ミリ波レーダー+単眼カメラ方式)

■直進時の車両・歩行者検知機能

前方の車両や歩行者(昼夜)、自転車運転者(昼夜)、自動二輪車(昼)をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報ブザーと表示で衝突の可能性を知らせ、ブレーキを踏んだ場合はプリクラッシュブレーキアシスト。ブレーキを踏めなかった場合はプリクラッシュブレーキを作動させ、衝突回避または被害軽減をサポートします。



■「交差点」右折時の対向直進車・右左折時の対向方向から来る横断歩行者・自転車運転者検知機能

交差点右折時に直進してくる対向車や、右左折時に対向方向から横断してくる歩行者・自転車運転者をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。ブザーと表示で衝突の可能性を知らせると同時に、プリクラッシュブレーキを作動。衝突回避または被害軽減をサポートします。

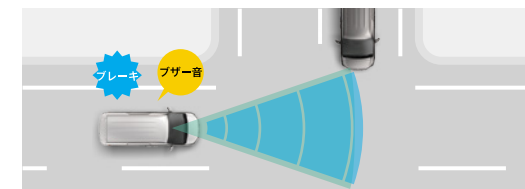
*交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。
*プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。



■「交差点」出合頭時の車両・自動二輪車検知機能

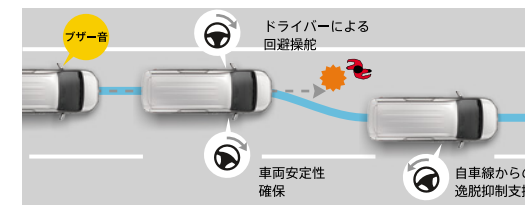
交差点で側方から接近する車両や自動二輪車をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。ブザーと表示で衝突の可能性を知らせると同時に、プリクラッシュブレーキを作動。衝突回避または被害軽減をサポートします。

*交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。
*プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。



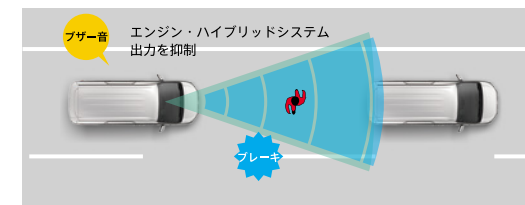
■緊急時操舵支援機能

前方で衝突の可能性が高く、自車線内に回避するための十分なスペースがあるとシステムが判断し、ドライバーの回避操舵があったとき、操舵支援を行ない、車両安定性確保と、車線逸脱抑制に寄与します。



■低速時加速抑制機能

前方に歩行者・自転車運転者・車両がある状態で停車または徐行状態からアクセルペダルを強く踏んだ場合、エンジンおよびハイブリッドシステム出力を抑制または弱いブレーキをかけて加速を抑制し、衝突回避または被害軽減をサポートします。



<プリクラッシュセーフティ (PCS) について> ■運転支援を目的としています。■検知機能・制御機能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。■状況によっては正常に作動しない場合があります。■ご注意ください項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。<各機能の作動条件> ●作動する対象と自車速度は以下の通りです。●直進時の車両・歩行者検知機能は、先行車両・自動二輪車や静止車両・自動二輪車の場合は約5~180km/h、対向車両・自動二輪車の場合は約30~180km/h、自転車や歩行者の場合は約5~80km/hで走行中。衝突警報が作動中にハンドルを大きく操作するか、すばやく操作すると、衝突警報が解除される場合があります。●「交差点」右折時の対向直進車・右左折時の対向方向から来る横断歩行者・自転車運転者検知機能は、対向車両・自動二輪車の場合は約5~40km/h、自転車や歩行者の場合は約5~30km/hで走行中。●「交差点」出合頭時の車両・自動二輪車検知機能は、車両(側面)・自動二輪車(側面)の場合、約5~60km/hで走行中。●緊急時操舵支援機能は、先行車両、静止車両、自動二輪車、自転車、歩行者の場合、約40~80km/hで走行中。●緊急時操舵支援機能は回避するための十分なスペースがない、また、回避先に物があるとシステムが判断した場合には作動しません。横断歩行者など一定以上の速度を持った対象には作動しない場合があります。方向指示灯が点滅しているときは、緊急時操舵支援が作動しません。緊急時操舵支援の作動中に「アクセルペダルを強く踏み込む」「ハンドルを大きく操作する、またはすばやく操作する」「ブレーキペダルを踏む」といった操作をすると、作動が解除される場合があります。●低速時加速抑制機能は先行車両、静止車両、自転車、歩行者の場合、約0~15km/hで走行中。低速時加速抑制の作動中に「アクセルペダルを離す」「ハンドルを大きく操作する、またはすばやく操作する」といった操作をすると、作動が解除されます。低速時加速抑制機能はパーキングサポートブレーキ(前後方静止物)の対象物である壁などに対しては作動しないシステムで、パーキングサポートブレーキ(前後方静止物)の代替機能となるシステムではありません。



暗い夜道も、
見やすさを安心サポート。



毎日の安全運転を、
さりげなくサポート

街中でのドライビングをサポート

標識の見逃しをブザーで告知

▶ ロードサインアシスト (RSA)



単眼カメラで認識した「最高速度/はみ出し通行禁止/一時停止/転回禁止」の道路標識をディスプレイ表示。また、「最高速度/車両進入禁止/赤信号」の道路標識や信号に従っていないとシステムが判断した場合、表示の反転や点滅、ブザーなどでドライバーに告知します。

*RSA=Road Sign Assist

先行車・信号出遅れをブザーでお知らせ

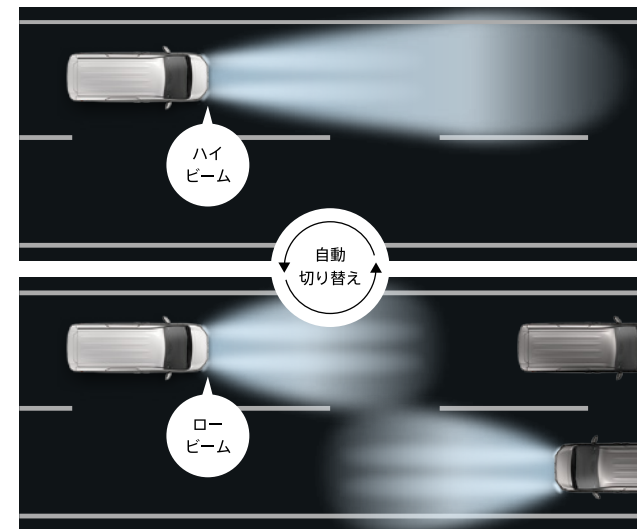
▶ 発進遅れ告知機能 (TMN)

信号が赤から青に変わった時や、先行車発進時の「うっかり出遅れ」を警報ブザーと表示でお知らせします。

*TMN=Traffic Movement Notification

ハイビームとロービームを自動切り替え

▶ オートマチックハイビーム (AHB)



ハイビームとロービームを自動で切り替えることで、夜間の歩行者などの早期発見をサポート。切り替え忘れを防ぎ、手動操作の煩わしさも軽減します。

*AHB=Automatic High Beam

リスクを先読みして適切な操作をサポート

▶ プロアクティブドライビングアシスト (PDA)

「歩行者の横断」「飛び出してくるかもしれない」など、運転の状況に応じたリスクの先読みを行なうことで、危険に近づきすぎないように運転操作をサポート。さらに先行車や前方のカーブに対して減速操作もアシストし、ドライバーの安心につながります。

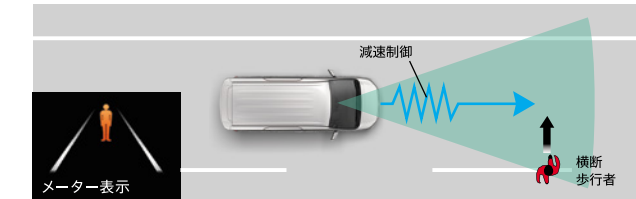
*PDA=Proactive Driving Assist

■歩行者/自転車運転者/駐車車両に対する操舵・減速支援

運転中のリスクを先読みし、危険に近づきすぎないように操作をサポートします。

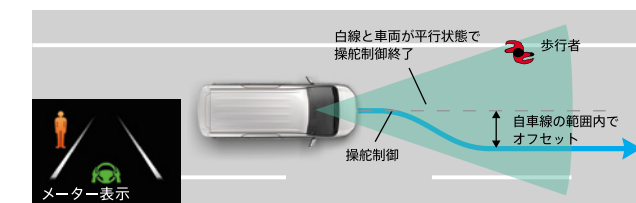
横断歩行者/自転車運転者に対する支援 [減速制御]

車間距離が近づきすぎないようにブレーキ操作の一部を支援。



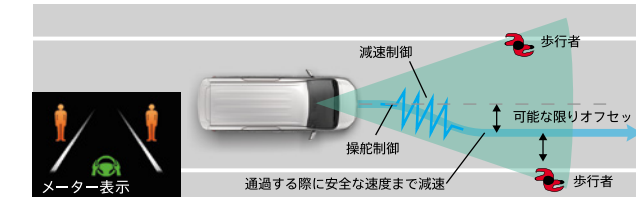
側方間隔が近い歩行者/自転車運転者/駐車車両に対する支援 [操舵制御]

周囲の状況に応じて、対象に近づきすぎないようにブレーキ操作やハンドル操作の一部を支援。



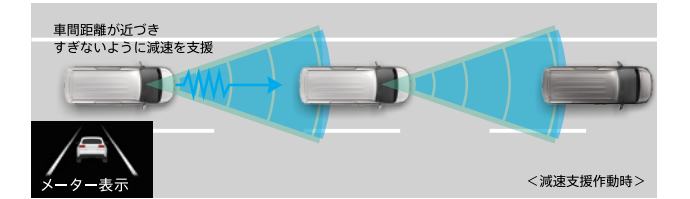
側方間隔が近い歩行者/自転車運転者/駐車車両に対する支援 [操舵方向にリスクが存在] [操舵・減速制御]

自車線から逸脱しない範囲で、ハンドル操作を支援。



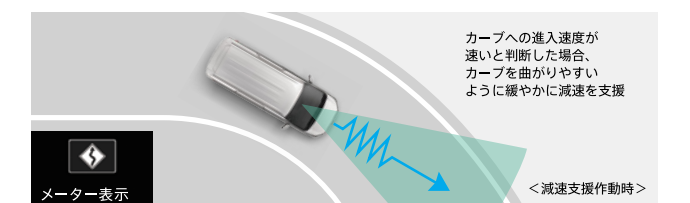
■先行車に対する減速支援

先行車や隣接車の割り込みを検出すると、ドライバーのアクセルOFFに応じて車間距離が近づきすぎないように緩やかに減速します。



■カーブに対する減速支援

前方のカーブに対して自車のスピードが速いとシステムが判断すると、ドライバーのアクセルOFFに応じて緩やかに減速します。



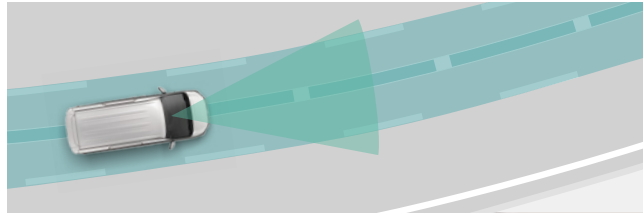
⚠️ <RSA・AHB・TMN・PDAについて> ■運転支援を目的としています。■検知機能・制御機能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。■状況によっては正常に作動しない場合があります。■ご注意いただきたい項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。<各機能の作動条件> ●作動する対象と自車速度は以下の通りです。●ロードサインアシスト (RSA) は道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。●オートマチックハイビーム (AHB) は自車速度約30km/h以上で作動します。ハイビーム・ロービームの切り替え自動制御には、状況により限界があります。運転時には常に周囲の状況に注意し、必要に応じて手動で切り替えるなど、安全運転を心がけてください。●発進遅れ告知機能 (TMN) は右折矢印信号も検知可能です。シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。シフトポジションが「N」の時、またはレーダークルーズコントロール [全車速追従機能付] 機能で自車が停止した場合、さらにシフトポジションが「D」の時にブレーキホールドを使用した場合は、ブレーキペダルを踏んでいなくても作動します。先行車が約4m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFFおよび通知タイミングの変更が可能です。詳しくは取扱説明書をご覧ください。●プロアクティブドライビングアシスト (PDA) の歩行者/自転車運転者/駐車車両に対する操舵・減速支援は、歩行者、自転車運転者、駐車車両を対象に約30~60km/h。先行車に対する減速支援は、先行車、自動二輪車を対象に約20km/h以上。カーブに対する減速支援は、約20km/h以上。

※ 歩行者/自転車運転者/周辺車両
*メーターパネル、メモリーナビゲーションは機能説明のために点灯させたものです。実際の走行状態を示すものではありません。*画面はハメコミ合成です。*写真中のメモリーナビゲーションは販売会社装着アクセサリ (別売) です。また、ナビゲーション付属品は、撮影のため取り外しています。
Photo:HYBRID G ボディーカラーはホワイトパールクリスタルシャイン (070) 20

高速道路でのドライビングをサポート

高速道路でステアリング操作を一部支援

▶ レントレーシングアシスト (LTA)

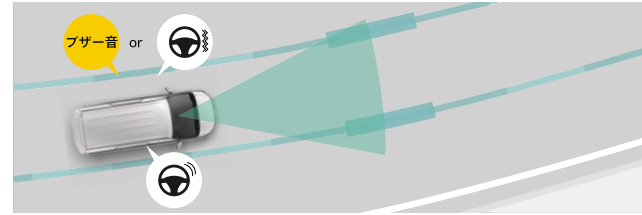


レーダークルーズコントロール[全車速追従機能付]作動時、車線維持に必要なステアリング操作支援を行いません。車線が見えにくい場合でも先行車を追従して操作を支援。隣接車線の車両を追い抜く場合などは、走行している車線の中央よりも回避側に走行位置を調整し、安全運転を支援します。

*LTA=Lane Tracing Assist

車線のはみ出しをアラートでお知らせ

▶ レンディパーチャーアラート (LDA)



車線から逸脱するおそれがある場合*にディスプレイへの表示および警報ブザーまたはステアリングの振動によって知らせると同時に、ステアリング操作を支援。歩行者や駐車車両を避けるための意図的な車線逸脱と判断した場合は、警報機能の作動を抑えます。

*車線だけでなく、アスファルトと草・土などの境界や縁石、ガードレールなどの構造物も認識対象としてシステムが作動します。*LDA=Lane Departure Alert

車速に応じて追従支援でロングドライブも快適

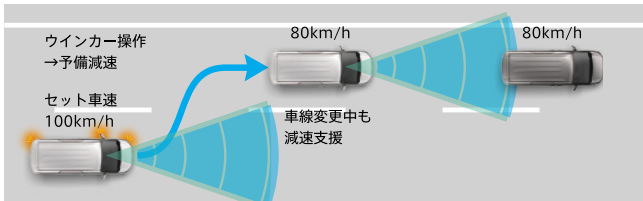
▶ レーダークルーズコントロール[全車速追従機能付]

■ 先行車追従機能



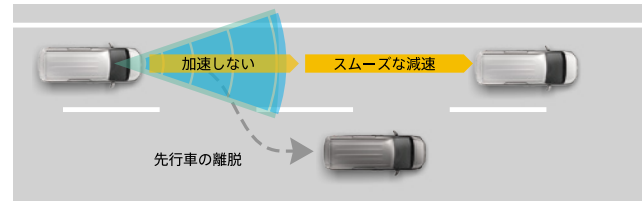
ミリ波レーダーと単眼カメラで先行車を認識し、車速に応じた車間距離を保ちながら追従走行を支援。高速道路での渋滞やノロノロ運転時も快適にサポートします。

■ 車線変更時の補助



高速域での走行中に追い越し車線へ車線変更する場合、遅い先行車を追い越すための予備加速、または車線変更先の遅い先行車に追従するための予備減速を実施し、スムーズな追い越しや車線変更を支援します。

■ 先々行車検知



高速道路の渋滞走行時など停止・発進を繰り返すシーンで、広い前方認識範囲により、先々行車の認識、進路判定、割り込み車などに対しても認識性能を確保。運転負荷を大幅に軽減します。

■ カーブ速度抑制機能

レーダークルーズコントロールで走行中、システムが前方のカーブを検知すると必要に応じて速度抑制を開始。より遠方のカーブまで検知して早期に減速を行ないます。

■ 4段階の車間距離設定

先行車との車間距離設定を4段階とし、ドライバーに合わせた車間距離を選べます。

ドライバーの無操作状態を検知して事故被害低減を支援

▶ ドライバー異常時対応システム

レントレーシングアシスト制御中にドライバーの無操作状態が継続している場合、音と表示と緩減速により警告。ハザード・ホーン・ストップランプで車外に異常を報知しながら自車線内に減速停車し、自損・加害事故の回避・事故被害低減を支援します。



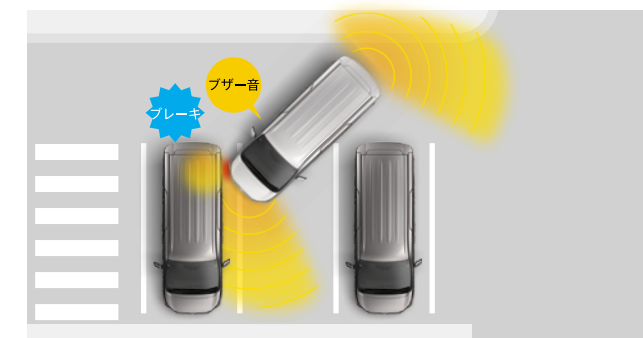
<LTA・LDA・レーダークルーズコントロール・ドライバー異常時対応システム・パーキングサポートブレーキ・ドライブスタートコントロール・EPB・ブレーキホールドについて> ■ 運転支援を目的としています。■ 検知機能・制御機能には限界があります。これらの機能に頼った運転はせず、常に安全運転を心がけてください。■ 状況によっては正常に作動しない場合があります。■ ご注意いただきたい項目がありますので、必ず取扱説明書をお読みください。■ 詳しくは販売会社にお問い合わせください。<各機能の作動条件> ● レンディパーチャーアラート (LDA)、レントレーシングアシスト (LTA) は自動で運転する装置でも周囲への注意を軽減する装置でもないため、運転者は常に自らの責任で周囲の状況把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。故意に車線から逸脱して走行するなど、各システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。安全性の観点から、ドライバーはステアリングを持続する必要がある。手を放すと、レントレーシングアシスト (LTA) が停止します。● 例えば次のような条件下では、レンディパーチャーアラート (LDA)、レントレーシングアシスト (LTA) が正常に作動しないおそれがあります。● 例えば、車線または走路の認識が困難なシーン (悪天候、逆光、濡れた路面、線がかすれている、急カーブ、急勾配、分合流付近など) や、タイヤに変化がある時 (応急用タイヤ、タイヤチェーン装着時など) は、レンディパーチャーアラート (LDA)、レントレーシングアシスト (LTA) が正常に作動しないおそれがあります。● 例えば、車線を見失った時や、ドライバーの追加運転操作を検知した時 (ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など) などでは、システムの作動条件が満たされずレンディパーチャーアラート (LDA)、レントレーシングアシスト (LTA) の作動をキャンセルする場合があります。● レンディパーチャーアラート (LDA) は約50km/h以上で作動します。路外の構造物に対しては約35km/h以上で作動します。ただし、レントレーシングアシスト (LTA) 支援中は約50km/h未満でも車線逸脱警報機能が作動します。● 作動車速以上で走行しドライバーの目で車線が見える場合でも、急カーブや急勾配を走行する時や、車線幅が狭い、または変化している時など、山間部や市街地などに見られるような状況では、レンディパーチャーアラート (LDA) が作動しない、または安定して作動しない場合があります。● レン



駐車場でのドライビングをサポート

アクセルの踏みまちがいで起こる衝突を緩和

▶ パーキングサポートブレーキ (前後方静止物)



駐車時のアクセルの踏みまちがいがや踏みすぎなどで起こる衝突を緩和。出庫や後退操作中に周囲を監視しながら静止物の接近を表示とブザーで知らせ、さらに距離が縮まると衝突被害軽減ブレーキをかけます。

ボタン操作でパーキングブレーキを作動

▶ 電動パーキングブレーキ (EPB)

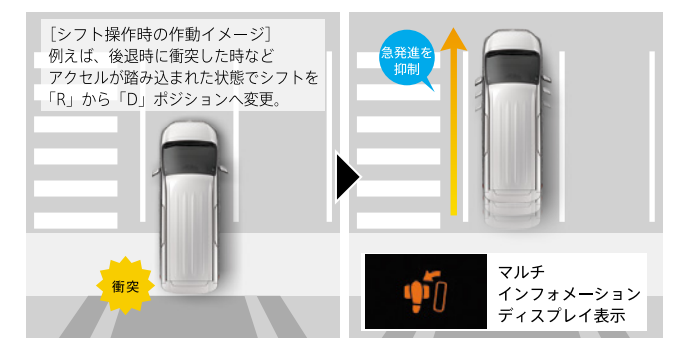
シフトレバーを「P」ポジションに入ると自動で作動。ブレーキペダルを踏みながら「D」ポジションなど「P」ポジション以外にシフトすると解除されるオートモードが付いています。

* オートモードはOFFにすることもできます。* パワー (エンジン) スイッチがON以外のときは、パーキングブレーキスイッチによるブレーキ解除はできません。* 冬季はオートモードをOFFにしてください。パーキングブレーキが自動的に作動し、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。



急発進を抑制して被害軽減に寄与

▶ ドライブスタートコントロール



シフト操作時の急発進・急加速を抑制。後退時に衝突して慌てたドライバーが、アクセルを踏み込んだままシフトを「R」から「D」へ変更した際、表示で注意喚起し、エンジン出力/ハイブリッドシステム出力を抑制。後退時に必要以上にアクセルを踏んだ場合も同様に出力を抑制します。

ブレーキペダルを踏み続けなくても停車を保持

▶ ブレーキホールド

「HOLD」スイッチを押してシステムを作動させ、渋滞や信号待ちなどでブレーキを踏んで停車すると、ブレーキがかかったまま保持されます。アクセルを踏むと解除され、スムーズに発進できます。

* ブレーキ保持中にブレーキペダルが踏まれていない状態が約3分継続すると、自動的にパーキングブレーキがかかります。

トレシングアシスト (LTA) が先行車に追従する支援を行なう場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線変更した時は、先行車の位置に合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。先行車がふらついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。● 車間距離制御は状況により限界があります。システムを過信せず、安全運転をお願いします。設定速度は、制限速度、交通の流れ、路面環境、天候などを考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は運転者が行なう必要があります。道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用にならない場合があります。● 高速道路や自動車専用道路でご使用ください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。● レーダークルーズコントロールの車間距離制御は状況により限界があります。システムを過信せず、安全運転をお願いします。設定速度は、制限速度、交通の流れ、路面環境、天候などを考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は運転者が行なう必要があります。道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用にならない場合があります。● 高速道路や自動車専用道路でご使用ください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。● ドライバー異常時対応システムは自動車専用道路 (一部を除く) を約50km/h以上で走行している場合に作動します。体調異常を直接検知できるわけではないため、システムが正常な運転操作と判定した場合は作動しません。● パーキングサポートブレーキは衝突被害軽減ブレーキまで動くシステムではありませんが、必ず止まることを約束するものではありません。道路状況、車両状態および天候状態等によっては作動しない場合があります。また、衝突の可能性がなくてもシステムが作動する場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。● 安全運転を行なう責任は運転者にあります。常に周囲の状況把握し、安全運転に努めてください。ソナーおよびレーダー、カメラの検知範囲、作動速度には限界があります。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。運転者自身でパーキングサポートブレーキの衝突被害軽減ブレーキ制御を試すことはおやめください。パーキングサポートブレーキの衝突被害軽減ブレーキが作動した場合でもブレーキ制御は2秒で解除されるため、そのまま前進・後退できます。また、ブレーキペダルを踏んでもブレーキ制御は解除されるため、再度アクセルペダルを踏むことで前進・後退できます。



ボディカラーはホワイトパールクリスタルシャイン(070)



ボディカラーはスパークリングブラックパールクリスタルシャイン(220)



HYBRID G

7人乗り

エコカー減税
自動車重量税
免税

PRICE

2WD

メーカー希望小売価格
3,450,700円*
(消費税抜き3,137,000円)

E-Four

メーカー希望小売価格
3,697,100円*
(消費税抜き3,361,000円)

●ホワイトパールクリスタルシャイン・
スパークリングブラックパールクリスタル
シャイン塗装車は、33,000円高
(消費税込み)。

*E-Fourは、トヨタ自動車株式会
社の登録商標です。



G

8人乗り

PRICE

2WD

メーカー希望小売価格
3,106,400円*
(消費税抜き2,824,000円)

4WD

メーカー希望小売価格
3,327,500円*
(消費税抜き3,025,000円)

●ホワイトパールクリスタルシャイン・
スパークリングブラックパールクリスタル
シャイン塗装車は、33,000円高
(消費税込み)。



BODY COLOR ボディカラー



ホワイトパールクリスタルシャイン*(070)



スティールブロンズメタリック(4X1)

受注生産



メタルストリームメタリック(1K0)



スパークリングブラックパール
クリスタルシャイン*(220)

受注生産



アティチュードブラックマイカ(218)

*ホワイトパールクリスタルシャインとスパークリングブラックパールクリスタルシャインは、他のボディカラーと価格が異なります。
*スパークリングブラックパールクリスタルシャイン(220)は、黒や紫など様々な色に見える特性の強いボディカラーです。

★記載のメーカー希望小売価格は消費税10%に基づいています。メーカー希望小売価格はタイヤパンク応急修理キット付で、保険料・税金(除く消費税)・登録等に伴う費用および付属品価格は含まれません。

メーカー希望小売価格は参考価格です。価格は販売会社が独自に定めていますので、詳しくは各販売会社にお問い合わせください。リサイクル料金が別途必要です。詳しくは巻末のリサイクル料金表をご覧ください。

EQUIPMENT 主要装備

| 機種名 | HYBRID G | G | その他の全車標準装備 |
|--|-------------|--------|---|
| <p>ブリクラッシュセーフティ(歩行者[昼夜]・自転車運転者[昼夜]・自動二輪車[昼])検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー+単眼カメラ方式)</p> <p>ドライブスターコントロール</p> <p>パーキングサポートブレーキ(前後方静止物) ※1</p> <p>レーンレーシングアシスト(LTA)</p> <p>レーンディパーチャーアラート(LDA)</p> <p>発進遅れ告知機能(TMN)</p> <p>ロードサインアシスト(RSA)</p> <p>レーダークルーズコントロール[全車速追従機能付]</p> <p>オートマチックハイビーム(AHB)</p> <p>プロアクティブドライビングアシスト(PDA)</p> <p>車両接近通報装置</p> <p>ドライバ-異常時対応システム</p> <p>ヒルスタートアシストコントロール</p> <p>SRSエアバッグ(運転席・助手席)+SRSサイドエアバッグ(運転席・助手席)+SRSカーテンシールドエアバッグ(フロント・セカンド・サードシート)</p> <p>リフレクター式LEDヘッドランプ[マニュアルレベリング機構付]+LEDクリアランスランプ+タールランプ</p> <p>リヤコンビネーションランプ(LEDストップランプ+LEDテールランプ+LEDタンランプ+LEDバックアップランプ)</p> <p>ELR付3点式フロントシートベルト[プリテンショナー&フォースリミッター機構付]</p> <p>ELR付3点式セカンドシートベルト[フォースリミッター機構付]</p> <p>ELR付3点式セカンドシートベルト[プリテンショナー+フォースリミッター機構付(左右席)]</p> <p>ELR付3点式サードシートベルト</p> <p>電気式無段変速機</p> <p>Direct Shift-CVT(ギヤ機構付自動無段変速機)</p> <p>10速シケンシャルシフトマチック</p> <p>ダイナミックトルクコントロール4WD</p> <p>E-Four(電気式4WDシステム)</p> <p>寒冷地仕様(ウインドーシールドデアイサー+PTCヒーターなど)</p> <p>ヒートドアマミラー</p> <p>ハイブリッドシステム</p> <p>セキュリティアラームシステム</p> | | | <p>LEDハイマウントストップランプ</p> <p>緊急ブレーキングナル</p> <p>EBD(電子制動力配分制御)付ABS&ブレーキアシスト</p> <p>コンライト[ライト自動消灯+消灯システム/ランプオートカットシステム]</p> <p>オート電動格納式リモコンカラードアミラー[LEDサイドターンランプ付]+サイドアンダーミラー</p> <p>電動パーキングブレーキ</p> <p>パーキングブレーキスイッチ</p> <p>S-VSC</p> <p>TRC[OFFスイッチ付]</p> <p>ウォッシャー連動間欠フロントワイパー[時間調整式+車速感応式]</p> <p>ウォッシャー連動間欠リヤワイパー[リパース連動機能付]</p> <p>リヤウインドーデフォグガー[タイマー付]</p> <p>汎用ISOFIX対応チャイルドシート固定専用バー+トッパテザ-アンカー(セカンドシート左右席)</p> <p>全席シートベルト非着用警告灯[点滅式]+リマインダー[警告音]</p> <p>アジャスタブルシートベルトアンカー(運転席・助手席)</p> <p>ブレーキホールド</p> <p>フロントディスクブレーキ[ベンチレーテッド]</p> <p>リヤディスクブレーキ[ベンチレーテッド]</p> <p>防眩式ル-ムミラー</p> <p>イモビライザー(国土交通省認可品)</p> <p>タイヤパンク応急修理キット ※2</p> |
| <p>安全装備/メカニズム</p> | | | |
| <p>快適装備</p> | | (4WD車) | |
| <p>エクステリア</p> | (E-Four搭載車) | (4WD車) | |
| <p>インテリア</p> | (E-Four搭載車) | (4WD車) | |
| <p>収納スペース</p> | | | |
| <p>オーディオ</p> | | | |

■は標準装備。

※1 字光式ナンバープレートは同時装着できません。 ※2 タイヤのバースト時など、応急修理できない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 ※3 E-Four搭載車および4WD車のUVカットフロントドアグリーンガラスは、撥水機能付となります。 ※4 植込み型心臓ペースメーカー等の機器をご使用の方は、電波によりこれらの機器に影響を及ぼすおそれがありますので、車内に搭載された発信機から約22cm以内に植込み型心臓ペースメーカー等の機器を近づけないようにしてください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 ※5 DC5V/3A(消費電力15.75W)の電源としてご使用ください。 *「コンライト」、「S-VSC」、「TRC」、「E-Four」は、トヨタ自動車株式会社の登録商標です。 *「nansoe」、「ナノイ-」及び「nansoe」マークは、パナソニック株式会社の商標です。 ○納期は機種・ボディカラー・注文装備等により異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。 ○ランディは、全車、スペアタイヤのかわりにタイヤパンク応急修理キットを装備しています。なお、ジャッキは装備しておりません。販売会社装着アクセサリ(別売)としてご用意しております。

SPECIFICATIONS 主要諸元

| ボディ | | 5Dア | | | |
|--------------------|--|------------------------|---------------------------------------|---------------------|------|
| 機種名 | | HYBRID G | | G | |
| 車名・型式 | スズキ・6AA-ZWR90C | スズキ・6AA-ZWR95C | スズキ・6BA-MZRA90C | スズキ・6BA-MZRA95C | |
| 駆動方式 | 2WD(前2輪駆動) | E-Four(電気式4輪駆動) | 2WD(前2輪駆動) | フルタイム4WD | |
| トランスミッション | 電気式無段変速機 | | Direct Shift-CVT(ギヤ機構付自動無段変速機) | | |
| ■機種記号 | LBGV | LBGX | LBGE | LBGQ | |
| ■寸法・重量 | | | | | |
| 全長(mm) | 4,695 | | | | |
| 全幅(mm) | 1,730 | | | | |
| 全高(mm) | 1,845 | 1,875 | 1,845 | 1,875 | |
| 室内寸法(mm) ※6 | 長さ | 2,805 | | | |
| | 幅 | 1,470 | | | |
| | 高さ | 1,405 | | | |
| ホイールベース(mm) | 2,850 | | | | |
| トレッド(mm) | 前 | 1,500 | | | |
| | 後 | 1,515 | | | |
| 最低地上高(mm) ※6 | 140 | 125 | 140 | 125 | |
| 車両重量(kg) | 1,650 | 1,700 | 1,620 | 1,690 | |
| 乗車定員(名) | 7 | | | | |
| ■性能 | | | | | |
| 燃料消費率(km/L) ※7 | WLTCモード ※8 (国土交通省審査値) | 23.2 | 22.0 | 15.1 | 14.3 |
| | 市街地モード(WLTC-L) | 22.5 | 22.0 | 11.5 | 11.1 |
| | 郊外モード(WLTC-M) | 25.2 | 23.9 | 15.5 | 14.6 |
| | 高速道路モード(WLTC-H) | 22.3 | 20.9 | 17.1 | 16.1 |
| 主要燃費向上対策 | ハイブリッドシステム、アイドリングストップ装置、電気式無段変速機、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング、充電制御 | | 筒内直接噴射、自動無段変速機、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング | | |
| 最小回転半径(m) | 5.5 | | | | |
| ■エンジン | | | | | |
| 型式 | 2ZR-FXE | | M20A-FKS | | |
| 種類 | 直列4気筒 | | | | |
| 内径×行程(mm) | 80.5×88.3 | | 80.5×97.6 | | |
| 総排気量(L) | 1.797 | | 1.986 | | |
| 燃料供給装置 | EFI(電子制御式燃料噴射装置) | | 筒内直接+ボ-燃料噴射装置(D-4S) | | |
| 最高出力(kW/rpm) ネット | 72(98PS)/5,200 | | 125(170PS)/6,600 | | |
| 最大トルク(N・m/rpm) ネット | 142(14.5kg・m)/3,600 | | 202(20.6kg・m)/4,900 | | |
| 燃料タンク容量(L) | 52 | | | | |
| 使用燃料 | 無鉛レギュラーガソリン | | | | |
| ■モーター | | | | | |
| フロントモーター | 型式 | 1VM | | | |
| | 種類 | 交流同期電動機 | | | |
| | 最高出力(kW) | 70(95PS) | | | |
| | 最大トルク(N・m) | 185(18.9kg・m) | | | |
| リヤモーター | 型式 | 1WM | | | |
| | 種類 | 交流同期電動機 | | | |
| | 最高出力(kW) | 30(41PS) | | | |
| | 最大トルク(N・m) | 84(8.6kg・m) | | | |
| 動力用主電池 | 種類 | リチウムイオン電池 | | | |
| | 容量(Ah) | 4.08 | | | |
| ■動力伝達装置 | | | | | |
| 変速比 | ギヤ機構部 | 前進 | - | | |
| | | 後退 | - | | |
| | 無段変速部 | 前進 | - | | |
| 減速比 | 3.218 | フロント:3.218/リヤ:10.487 | 4.262 | フロント:4.262/リヤ:2.277 | |
| ■ブレーキ | | | | | |
| 主ブレーキ形式 | 前 | ベンチレーテッドディスク | | | |
| | 後 | ベンチレーテッドディスク | | | |
| 作動方式 | 油圧・回生ブレーキ協調式 | | 油圧式 | | |
| ■懸架装置 | | | | | |
| 懸架方式 | 前 | マクファーソン・ストラット式コイルスプリング | | | |
| | 後 | トーションビーム式コイルスプリング | | | |
| タイヤ | 205/60R16 92H | | | | |

*「E-Four」、「EFI」はトヨタ自動車株式会社の登録商標です。

*6 トヨタ自動車株式会社測定値。

*7 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

*8 WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは高速道路等での走行を想定しています。

○緑字の機種は「エコカー減税」の対象車です。ご購入時に自動車重量税の減税措置が受けられます。(2025年4月30日まで)。

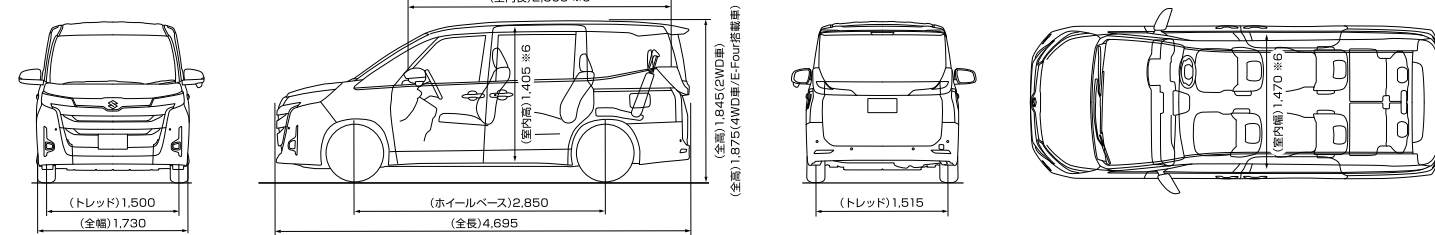
○緑字の機種は「グリーン購入法」特定調達物品等の判断基準」に適合。*国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律。

○緑字の機種は「グリーン購入法」に基づく政府公用車の基準」に適合。

○「エコカー減税」、「グリーン購入法」に関して、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

○エンジンおよびモーター出力表示は「PS/rpm」から「kW/rpm」へ、エンジンおよびモータートルク表示は「kg・m/rpm」から「N・m/rpm」へ切り替わりました。〈 〉内は、旧単位での参考値です。

■寸法図(HYBRID G) 単位:mm



環境情報

| 機種名 | | HYBRID G | | G | | |
|---------------------------|--------------------------------|--|----------------------------|-------------|------------------|------|
| 基礎情報 | 車両型式 | 6AA-ZWR90C | 6AA-ZWR95C | 6BA-MZRA90C | 6BA-MZRA95C | |
| | エンジン | 型式 | 2ZR-FXE | | M20A-FKS | |
| | | 総排気量(L) | 1.797 | | 1.986 | |
| | 駆動装置 | トランスミッション | 電気式無段変速機 | | Direct Shift-CVT | |
| 駆動方式 | | 2WD(前2輪駆動) | E-Four(電気式4輪駆動) | 2WD(前2輪駆動) | フルタイム4WD | |
| 環境性能情報 | 車両重量(kg) | 1,650 | 1,700 | 1,620 | 1,690 | |
| | 燃料消費率 | 燃料消費率(km/L) ※1 | 23.2 | 22.0 | 15.1 | 14.3 |
| | | CO ₂ 排出量(g/km) | 100 | 106 | 154 | 162 |
| | | 市街地モード(WLTC-L)(km/L) ※2 | 22.5 | 22.0 | 11.5 | 11.1 |
| | | 郊外モード(WLTC-M)(km/L) ※2 | 25.2 | 23.9 | 15.5 | 14.6 |
| | | 高速道路モード(WLTC-H)(km/L) ※2 | 22.3 | 20.9 | 17.1 | 16.1 |
| 参考 | | | | | — | |
| 排出ガス | 適合規制・認定レベル | | | | | |
| | 試験モード | | | WLTCモード | | |
| | 規制値・認定値等(g/km) | CO | 1.15 | | 0.025 | |
| | NOx | 0.013 | | | | |
| | PM | — | | | 0.005 | |
| グリーン購入法適合車 | ○ | | | — | | |
| 適合騒音規制レベル | 平成28年規制に適合 加速騒音規制値:70dB(M1A2A) | | | | | |
| エアコン冷媒の種類(GWP値 ※3)/使用量(g) | HFO-1234yf(1 ※4)/750 | | | | | |
| 車室内VOC | 自工会目標達成 | | | | | |
| 環境負荷物質削減 | 鉛 ※1 | 自工会2006年目標達成(1996年使用量の1/10以下) | | | | |
| | 水銀 ※2 | 自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止) | | | | |
| | 六価クロム | 自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止) | | | | |
| | カドミウム | 自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止) | | | | |
| | 自工会目標適用除外部品 | *1:鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *2:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスプレイヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外) | | | | |
| 環境への取り組み | リサイクル | リサイクルし易い材料を使用した部品 | バンパーカバー、インストルメントパネル、その他内装材 | | | |
| | 再生材を使用している部品 | ダッシュサイレンサー | | | | |
| | 樹脂・ゴム部品への材料表示 | 材料表示あり | | | | |

※1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
 ※2 WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。
 ※3 GWP=Global Warming Potential(地球温暖化係数)
 ※4 フロン法において、乗用車用エアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められております。

- 掲載写真の色は印刷のため実際とは異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 掲載写真には、合成または特別に許可を得て撮影したものが含まれます。
- 本車両の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。(2023年9月現在)
- 安心してお乗りいただくために、車両付属の取扱説明書をよくお読みください。
- 製造事業者:トヨタ自動車株式会社

○自動車リサイクル法の施行により、下表のリサイクル料金が別途必要です。

(リサイクル料金表)

リサイクル料金は2023年9月時点の金額です。

| ランディ | リサイクル預託金 | | | | 資金管理料金 | 合計 |
|------|-------------|----------|--------|--------|--------|---------|
| | シュレッダーダスト料金 | エアバッグ類料金 | フロン類料金 | 情報管理料金 | | |
| | 9,370円 | 1,930円 | 0円 | 130円 | 290円 | 11,720円 |

ランディの
アクセサリカタログを
WEBでご覧いただけます。



愛車の車検・点検は、お買い求めいただいたお店にお出かけください。

●法令で定められた点検整備(日常点検・定期点検)およびスズキが指定している点検整備は必ず行ないましょう。

シートベルトとチャイルドシートを忘れずに、スピードは控えめに安全運転。

- 交通法規を守り安全運転を心がけましょう。
- シートベルトは、同乗者も必ず着用しましょう。
- 無理、無謀な運転はやめましょう。
- 相手の立場を思いやる運転を心がけましょう。

安心の保証内容

〈一般保証〉新車登録日から3年間保証(その期間内でも走行距離は60,000kmまで)。
 〈特定保証〉スズキが特に指定した部品については新車登録日から5年間保証(その期間内でも走行距離は100,000kmまで)。このほか保証期間(走行距離)の異なるボディー錆保証等があります。

*別扱いの保証や保証の対象外となる項目があります。また、お車の日頃の点検整備を実施されないと保証修理を受けられないことがあります。詳しくは保証書をご覧ください。スズキ販売会社にお問い合わせください。

お問い合わせ、ご相談はお近くのスズキ販売店、または下記お客様相談室まで。

スズキ株式会社
お客様相談室 **0120-402-253**

受付時間/9:00~12:00、13:00~17:00

※弊社お客様相談室におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、スズキ株式会社ホームページにて掲載しておりますのでご覧ください。(https://www.suzuki.co.jp)